

自由民主党
鈴鹿市議団

原田 勝二 議員

命を守る・海水浴場の水難事故防止

(質問) 千代崎・鼓ヶ浦の両海水浴場に対する地域資源活用課の考え方は。また、両海水浴場の水難事故に対する責任体制は。本件について、過去(平成25年6月議会)にも質問したが、学官連携協議会議への提案などの経過はどうなったか。両海水浴場の地域資源としての活用施策は(県下初の仮称「すずかセービングクラブ」の創設など)。

(答弁) 千代崎・鼓ヶ浦の両海水浴場は、今後も地域資源として活用する。ライフセービングクラブの創設について、鈴鹿市観光協会等と協議を重ねるとともに、学官連携協議会議にも課題を提言し前向きに取り組む。事故防止に万全を期すとともに、責任体制はしっかりと守っていく。

※ライフガードやライフセーバーが監視中であることを示す赤と黄色の旗



鈴鹿の風 永戸 孝之 議員

女性活躍推進について

(質問) 女性活躍推進法が明記している「仕事と家庭生活の両立に向けた働きやすい職場環境の整備」「社会的支援」は、SUZUKA女性活躍推進連携会議で具体的にどう取り組むのか。

(答弁) 平成26年に実施したアンケート調査の結果も踏まえ、市内事業所への訪問を行いニーズに合う実効性のある施策や民間事業所におけ

るポジティブアクション、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた女性の活躍推進につながる。仕事と家庭の両立に向けた具体的取り組みとしては、組織のトップや人事担当者など対象を絞った講演会やセミナーなど、意識啓発に重点を置いた事業を計画している。

女性の働く環境を整えることは、男性の働き方の見直しにつながり、家庭生活が豊かになる。関係部署と連携し全庁的に取り組む。

その他の質問 ○燃料電池車普及について

市民クラブ 中村 浩 議員

長太地区の水道管破裂事故について

(質問) 水道管破裂事故はなぜ起こったのか。また、被害状況と事故後の対応はどうであったか。

(答弁) 長太ノ浦第2号踏切の市道西側において、昭和49年に埋設された水道管が破損した影響で、長太旭町地内の21世帯が断水し、管内の急激な水の流速の変化により長太地区をはじめ、池田町など一ノ宮地区の一部において濁り水が

発生した。

本市は、局内にコールセンターの設置、広報車による注意喚起のほか、断水の復旧工事とともに水道管の泥吐弁からの放水による濁り水の解消作業を行った。また、要請のあったところへ順次給水に向かうとともに、長太公民館に給水拠点を設置し、容量6リットルの給水袋約3,000袋を使用するなどし、昼と夕方を中心におよそ1,000人の方に給水した。

その他の質問 ○長太小学校の屋上転落防止フェンスのパート2

日本共産党 橋詰 圭一 議員

地域づくり協議会推進について

(質問) 市の幹部職員約470人を支援職員として配置し、「鈴鹿市地域づくり推進本部」が設置され、地域づくり活動がスタートした。地域づくり協議会を作ることが、地域の絆づくり、自治会などの活動の活性化にどうつながると考えているか。具体的にどういう活動をイメージしているのか。

(答弁) 「役割分担と効果的な地域活動」につな

がる。例えば防犯パトロールでは、個々の団体や住民が共に地域づくり協議会の「防災安全部」として活動することで、地域の安心・安全につながる事業にできる。また、団塊の世代の退職者の地域活動への参加や、NPOや地域内企業との連携により、効果的な地域活動の展開も期待できる。

その他の質問

○公民館等のトイレ改修について

○「人権尊重のまち」について